

平成28年 第11回大河原町教育委員会定例会会議録

- 1 招集日時 平成28年11月29日(水) 午後2時
- 2 招集場所 大河原町役場 議員執務室
- 3 出席委員 舟山幸枝委員(教育長職務代理者)、一盃森広志委員、丹羽宜博委員、古山陽子委員、齋一志教育長
- 4 説明のため出席した者
教育総務課長 尾形 彰、生涯学習課長 大槻 文彦、学校教育専門監 千葉 英一
- 5 開 会 午後2時
- 6 平成28年第10回教育委員会定例会会議録の承認について
舟山委員 (委員全員に諮って)承認する。
舟山委員、丹羽委員 署名。
- 7 平成28年第11回教育委員会定例会会議録署名の委員指名について
舟山委員 | 古山委員、齋教育長を指名する。
- 8 教育長報告
 - (1) 一般事務報告
報告第11号 障がい児の就学措置に係る答申について
(説明者:教育総務課長、教育長)
障がい児の就学措置に係る答申についてご説明申し上げます。資料は別紙のとおりである。
来年度の就学について、就学指導審議会において特別支援学級及び特別支援学校就学の審議をした結果である。
平成24年7月の学校教育法施行令の改正により、障害の状態、本人の教育的ニーズ、本人・保護者の意見、専門家からの意見、学校地域の状況等の総合的観点から、教育委員会が就学先を決定する仕組みとなったため報告するものである。
(質 疑)
無し
 - (2) 専決事務報告
無し

9 その他

(1) 教育長報告

(説明者：齋教育長)

10月23日に、大河原町クロスカントリー大会が2年ぶりに盛大に開催。
小中学校の児童生徒と先生方の参加率が非常に高く、ご支援ご協力に感謝申し上げます。

資料は別紙資料(校長会資料)である。

- I 祝 宮城県教育委員会教育功績者表彰 多大な功績に感謝
平成28年11月2日(水) 宮城県庁
＜教育行政＞ 教育委員 丹羽 宜博 様
＜学校教育＞ 大河原中学校長 菊地 均 様
- II 祝 宮城県教育委員会永年勤続表彰
平成28年11月14日(月) 仙台国際センター
金ヶ瀬中学校 教諭 村上 丞、教諭 鎌田 百合子
- III 学力向上 めざせ日本一
 - (1) 11月17日(木) 宮城県教育懇話会全体会で 大河原町の教育発表
学力向上の中核は読解力向上、R-PDCAサイクル 検証改善サークルの定着
発表後他市町への広がりが見られた
 - (2) 12月の標準学力テスト対策
魅力ある学級になっているか
良い悪いを厳格にする厳しさがなければ集団(学級)は動かず乱れる
授業が生き生きと展開されているか 時間オーバー、指導計画オーバーは厳禁
- IV 不祥事防止対策
 - (1) 学校の「法令等遵守」推進体制
 - ①推進担当者の決定 ②点検及び職員会議での報告 ③必要に応じての面談
 - ④チェックシート年2回の活用 ⑤ポスター等作成、掲示
- V 平成30年度教員採用選考方法の変更
- VI 県立高校入学選抜のあり方
- VII 在校時間の調査について
- VIII 平成28年度学校等職員表彰
 - 1 優秀教員 大河原小学校 教諭 星 健太郎
 - 2 優良教員 金ヶ瀬小学校 教諭 鈴木 順
金ヶ瀬中学校 教諭 松崎 恵子

(質 疑)

舟山委員
学校教育専門監

平成28年度学力学習状況調査について、専門監に説明をお願いしたい。
集計結果から見えてきたことは、人の役に立ちたいという高い志を持つ子ども、
読書が好きな子ども、規範意識の高い子どもは正答率が高いという結果が出た。

また、教師による認める・ほめる・励ますという「5つの提言」を実践しているか、授業のねらいを子供たちに理解させているか、対話的な学び（アクティブラーニング）を取り入れているかなども、正答率と相関が見られる。反対に、講義式授業、いわゆる受動的な授業が多いと感じている児童生徒の正答率は低く、全国で約15%もいる。子供たちに主体的に学ばせている授業は学力が向上するという結果が出ている。

一盃森委員
齋教育長

来年度採用の宮城県教員試験改正について具体的に示された。
仙台市と宮城県の採用が次回から分かれるため、大きな改正となった。小学校の地域採用枠・英語採用枠制度新設など様々な変更がなされている。

（2）各課長報告

（説明者：教育総務課長、生涯学習課長）

12月の行事予定を説明申し上げる。別紙資料である。

10 次回教育委員会の開催日程について

舟山委員長 | 次回の定例会は、平成28年12月19日（月）午後2時から開会する。

11 閉会宣言 午後3時30分

平成28年12月19日

署名委員

署名委員